

2025 年 4 月 15 日

松阪市議会議長

中島清晴様

市民クラブ

楠谷 さゆり

生成 A I 活用入門

研修報告書

日時：2025 年 4 月 15 日(火) 10:00~12:00

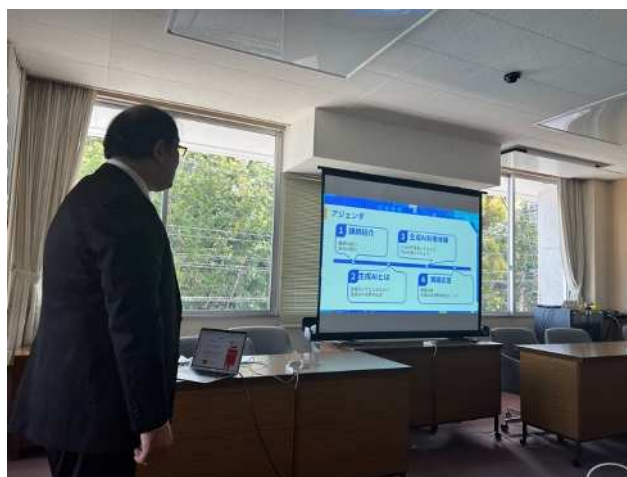
主催：深田龍議員

講師：南 治輝氏（株式会社サンエル 副社長）

参加議員：橘大介、吉川篤博、東村佳子、楠谷さゆり（市民クラブ）

目的

生成 AI は、情報収集や文書作成において高い精度を持つため、議員活動においてうまく活用すれば有益な「秘書」となり得る。例えば住民からの問い合わせに対して迅速な対応が可能となり、利便性が高まる。また、面談相手の情報を事前に獲得することによりスムーズなコミュニケーションが可能となる。さらには、大量のデータや情報を迅速に処理してくれることで、議会での質問に関して必要な情報を抽出することができる。また、政務活動費報告の際にも活用が期待できる。これら AI の活用によって、議員は地域課題の対応や議会改革の議論に、より多くの時間を割くことができる。



(講師の南治輝氏)

講義内容

①生成 AI とは

一言で表すと、人が話したり書いたりするのを真似して文章や絵を自動で作ってくれるコンピューターの仕組みである。「秘書」のような存在ではあるが、全てが正確だとは言い切れず、人間が後で情報の正確さを確認する必要がある。具体的には、文章を作ること、画像を作ること、音声や音楽を作ること、動画を作ること、データをまとめたり分析することなどが可能で、議会・議員活動としては会議メモ、議事録、要約、資料作成などの業務支援について特に利便性が高いと思われる。

②生成 AI 活用

活用方法として、議事録作成の例がある。これは実際の会話を特殊なマイクで録音し、そこから自動的に文字起こしをしたものを使って、AI が整然とした議事録を作成することができるものである。また、適切な前提条件を与えることによって、調査をすることも得意である。

ただし、AI はインターネット上の大量の文章を学習して動いているため、ハルシネーションと呼ばれる誤情報を提供することがある。活用するには人間が必ず確認する作業が必要とされる。

③生成 AI 利用体験

チャット GPT と Felo を実際に使って調査をしてみた。まず、「社会福祉制度について教えて」。次にそれに加えて、「小学生にもわかるように修正して」。さらに「説明を 1 分程度で話せるようにまとめてください」などの指示を続けていくことによって、講演資料なども作成することができる。ターゲットや講演時間、どんな内容をより伝えたいかなど、指示を工夫することが大切だと学んだ。

所感

研修会では生成 AI がどのように機能するのかを学び、実際に試みることによって具体的なイメージを掴むことができた。実際の活動や業務への活用法にも広く応用ができると分かり、ぜひ使ってみようと感じさせられた。実際には、すでに意識をしていなくても留守番電話の文字起こしや検索エンジンには生成 AI が入っている。自分から積極的に活用し、そこに自身の経験や判断を加えることによって文章作成の幅を広げることができると感じる。さらには、業務の効率化だけでなく、新たな価値の創造ができるように考えていきたい。